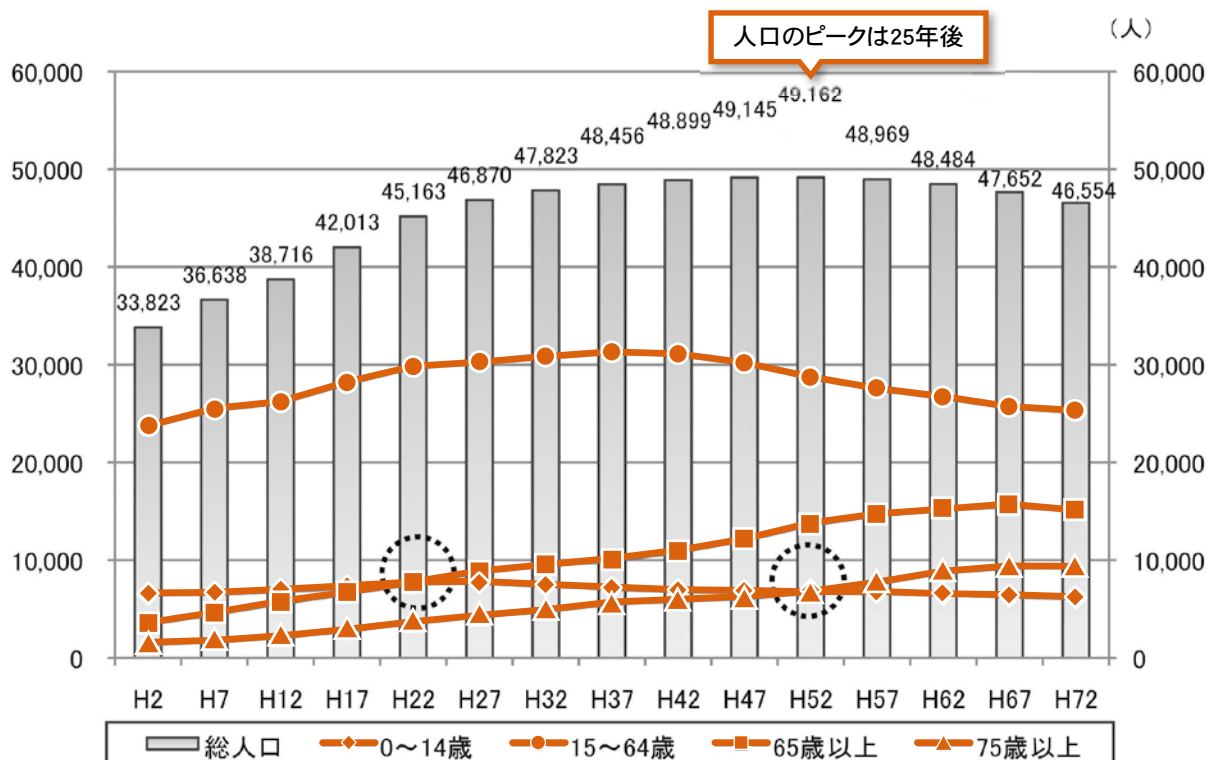


アシタのたかはま研究所からの研究レポート

急速に進展する少子高齢化などを背景とする新たな問題の登場、公共施設の老朽化、恒常的に続く財政難など、喫緊の課題の解決に追われるなか、不透明な将来に対しても、引き続き安定した行政運営を維持し、市民の皆さんが「しあわせ」を感じる「いつまでも住み続けたい」まち高浜市を持続していくために『アシタのたかはま研究所』を設置し、高浜市の未来について、さまざまなデータなどから調査・分析しています。

高浜市の人口の未来(将来人口の推計)



※人口の推計は、住民基本台帳（平成22年10月1日時点）の人口（各年10月1日時点）をベースに、平成24年～26年の3か年の転入転出の状況より「将来の純移動率」を独自に算出し、「国立社会保障・人口問題研究所」の人口推計による①将来の生存率、②将来の子ども女性比、③将来の0～4歳性比を用いて推計しています。

- ◎全国の市町村の多くですすでに人口減少が始まっています。しかし、高浜市の人口のピークは今から25年後の2040年(平成52年)と推計されます。
- ◎20年後(平成47年)には、市民の4人に1人が65歳以上になると予想されます。
- ◎生産年齢人口(15～64歳)も15年後(平成42年)には減少に転じると見込まれ、増加するのは老年人口(65歳以上)のみとなっていきます。



《アシタのたかはま研究所 研究レポートは、市公式ホームページで公開しています。》

市では、避けることのできない高齢化を見据え、このような推計をもとに、将来の高浜市の姿について考え、市民の皆さんと認識を共有していくために「高浜市人口ビジョン」を策定し、その実現に向けた取組みをまとめた「高浜市総合戦略」を策定していきます。

問合せ先 アシタのたかはま研究所（国総合政策グループ内） ☎52-1111（内線332）